

財団医療法人 水の本会

下関病院

下関病院附属 地域診療クリニック

多職種のスタッフが一丸となり
患者とその家族を支えながら
認知症地域医療の明日を開く

検査・診断から退院後まで
一貫したフォロー体制

下関病院は「病気を治すのではなく、病人を治す。すなわち人の心を癒やす」を基本理念に、急性期の精神科医療に取り組みと共に認知症の診療にも注力してきた。全国でも限られた病院にしかない、高規格な専門病棟であるスーパージ急病棟も2008年から設置し、より質の高い医療を提供している。

「患者さんをもっと受診しやすくなるように12年から新設した附属の地域診療クリニックが外来を受け持ち、入院加療を下関病院が担う形を取っています。認知症に関しては検査・診断から通院治療や重度認知症デイケア、入院、退院まで一貫してフォローする体制です。退院後は併設する各種老人福祉施設に移っていただくこともできます」と水木寛理事長・院長は話す。

財団医療法人水の本会
下関病院
理事長・院長

水木 寛



財団医療法人水の本会
下関病院附属地域診療クリニック
院長

末次 正知



財団医療法人水の本会
下関病院
医師

中山 寛人



下関病院

診療科目：精神科、神経内科、内科、心療内科
〒759-6613 山口県下関市富任町6丁目18番18号
TEL.083-258-0338
FAX.083-259-8876

下関病院附属 地域診療クリニック

診療科目：精神科、神経内科、内科、心療内科
診療時間：月～金曜日9:00～12:00/13:30～17:00、
土曜日9:00～12:00
休診日：日・祝、年末年始（12月30日～1月3日）
〒759-6614 山口県下関市梶栗町4丁目2番34号
TEL.083-262-0832
FAX.083-262-0833

<http://www.mizunoki.jp>

50床の認知症治療病棟や 認知症カフェを設置

医師や看護師をはじめ作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士など多職種が連携。精神疾患や身体疾患など合併症も診て認知症の総合的な治療を行い、患者の家族もサポートしていくという。電話相談も24時間受け付けている。地域診療クリニックの末次正知院長は「認知症は早期発見・早期治療が鍵となります。当院では受診当日に頭部MRI検査や脳波検査など全検査を行います。また当日中に各種申請手続等の援助など、迅速な対応を実現しています」と説明する。

同院は認知症治療における長年の実績が認められ、14年に山口

県から認知症疾患医療センターに指定された。地域の保健医療・介護関係者などとの協力を深めながら、専門的医療の提供、相談、情報発信、啓発を柱にいつそう地域医療の拠点としての取り組みにまい進。市における認知症ケアパスや認知症初期集中支援チームづくりにも貢献している。「医療・介護関係者向けの研修会や講演会をもっと増やしていきたいです。また当院に入院中の認知症患者の介護者の心のケアも行っています。それを全体に拡大していければ」と中山寛人医師。

今年7月からは32床だった老年期病棟を認知症患者だけが対象の50床の認知症治療病棟に転換し、さらなる専門的な診療の充実も図る。今秋、クリニック内に認知症の当事者や地域住民など、誰もが気軽に利用でき、交流を育む認知症カフェもオープンする予定だ。「一般の方を対象にした啓発活動もさらに強化する構えです。将来的には認知症患者の訪問看護も視野に入れています」と水木寛理事長。ますます地域になくてはならない認知症疾患医療センターの構築を見据えている。

取材／渕浩子